電動巻上スクリーン（ケース入）
取扱説明書

このたびは当社スクリーンをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保存して下さい。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じた時きっとお役にたちます。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

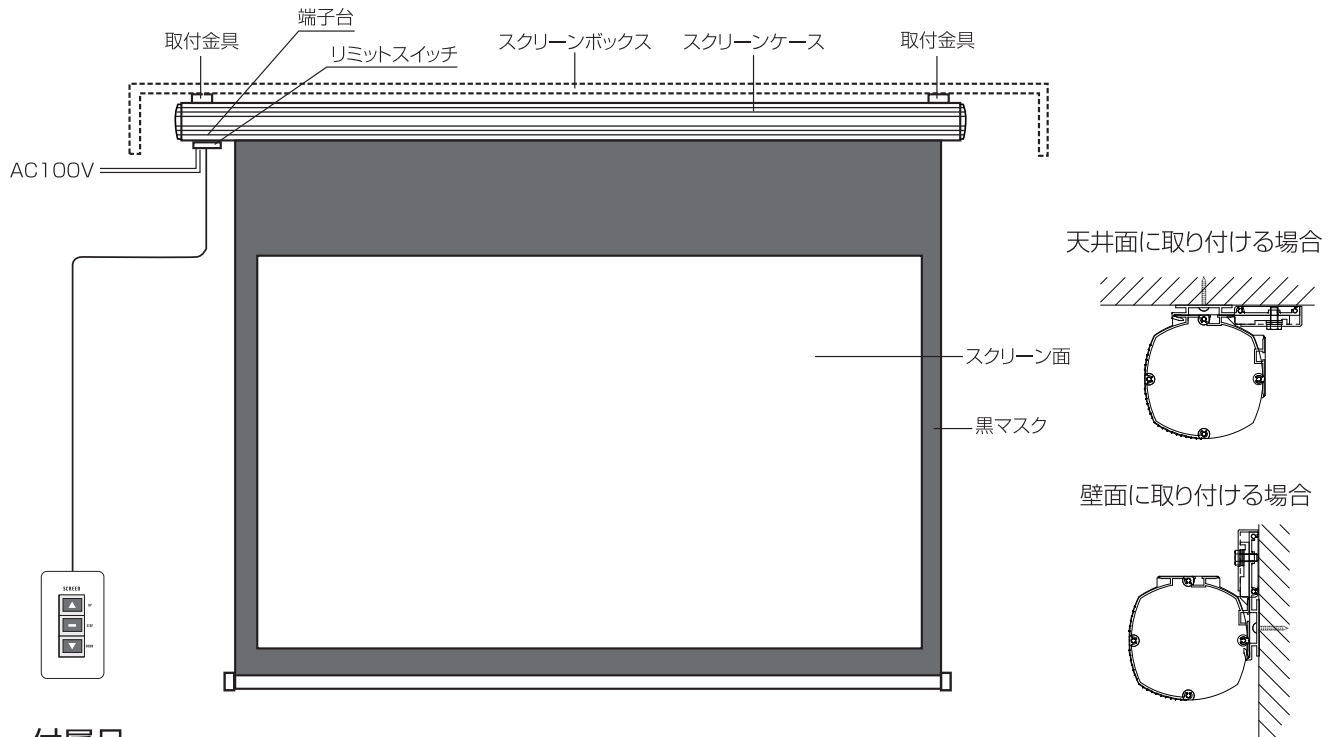
⃠記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

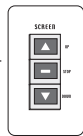
❶記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な表示内容が描かれています。

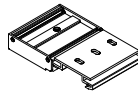
警告		・ストーブなど火器近くでは使用しないで下さい。 火災の原因になります。

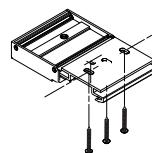
注意		・スクリーンにぶらさがったり掲示物を掛けたりしないでください。
		・スクリーン昇降させる時は、周囲に人や障害物がないことを確認してから操作して下さい。
		・スクリーン生地の下端部にパイプが付いていますので、ぶつからないように ご注意下さい。
		・スクリーンの操作は必ず操作スイッチで行って下さい。

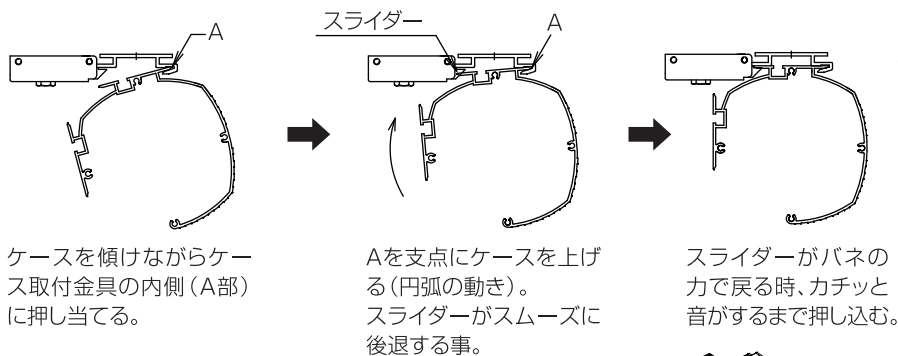
スクリーンの取付方法

本商品は工場出荷時に、調整済です。従って商品を分解しないで取り付けして下さい。

付属品

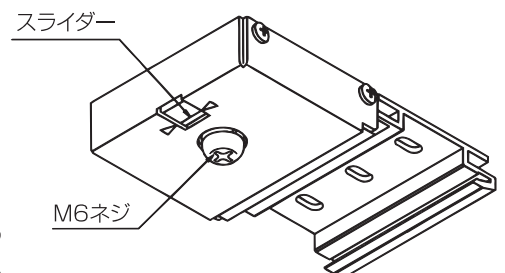
埋込みスイッチ

タッピングネジ…6本～9本

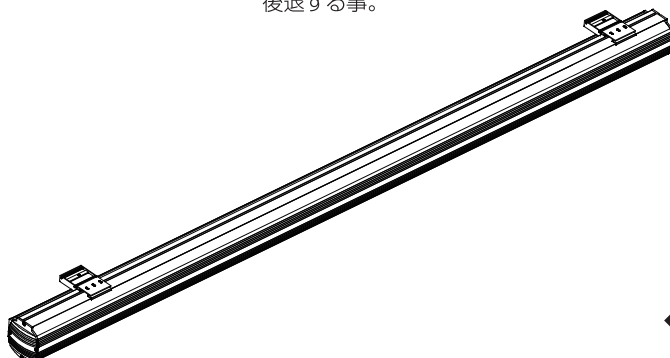
取付金具（壁・天井用）…2個～3個

❶ 取り付け金具の設置（壁・天井用） 例天井面取付の場合

取付金具のスライダーを固定しているM6ネジをすこし緩めて、スライダーがスムーズに動く事を確認して下さい。
取付金具（壁・天井用）2～3個を平行度を出し、付属のタッピングネジでしっかり固定する。

❷ スクリーンの固定

下記の順序でスクリーンケースを取り付けて下さい。

ケースを傾けながらケース取付金具の内側（A部）に押し当てる。

Aを支点にケースを上げる（円弧の動き）。
スライダーがスムーズに後退する事。

スライダーがバネの力で戻る時、カチッと音がするまで押し込む。

注： スライダーが▻ ◅マークの位置までスライドしているのを必ず確認して下さい。
※スクリーンが脱落する危険があります。

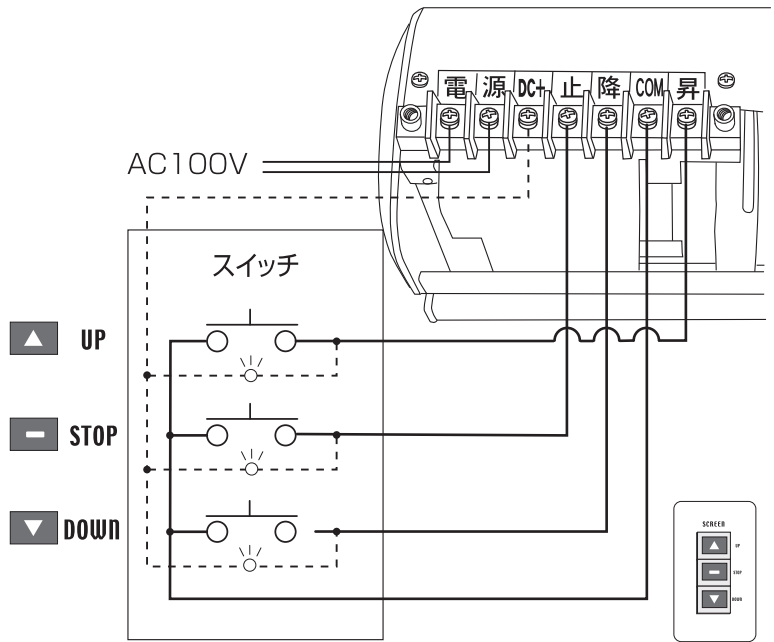
最後にM6ネジをしっかり締め付け、固定して下さい。

◆壁面に取り付ける場合も同じ順序で取り付けて下さい。

結線の方法

●端子台目かくしカバーを外し電源線、操作線を結線する。
※必ず電源を切って作業して下さい。
※電源線はφ1.6㎜×2c（入力AC100V）相当以上で配線して下さい。（配管線工事は別途です。）
※操作線は0.75㎟×4c相当以上で配線して下さい。（配管線工事は別途です。）

●スイッチを結線して所定の場所に取り付ける。
※スイッチは埋込みで、壁埋込みボックスは別途です。

●点灯式スイッチをお使いになる場合は、DC+をご使用下さい。（別途）

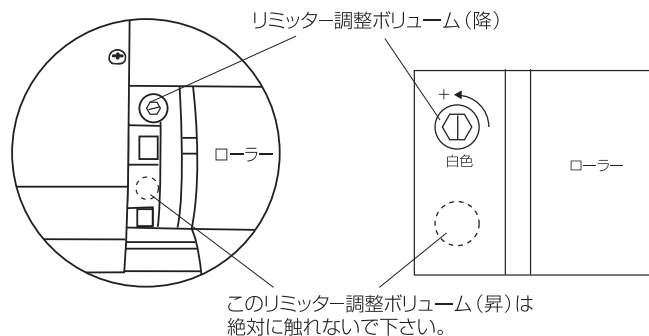
●最後に結線が正しく行われているか（他の線と触れていないか等）確認しカバーを取り付けて、電源を入れて下さい。

スクリーン停止位置の調整

スクリーンは工場出荷時に上部黒マスク寸法をあらかじめ設定してありますが、取付場所の状況に応じ、リミッター調整によって停止位置を任意の位置に変更することができます。
※工場出荷時には上部黒マスク寸法を最大に設定していますので現状のリミット位置より下げる事は出来ません。
スクリーンの生地脱落の恐れがありますのでおやめください。

●停止位置を下げるとき

リミッター調整ボリューム（白）を六角レンチ（4mm）またはマイナスドライバーで反時計方向に回す。（＋側）

●停止位置を上げるとき

リミッター調整ボリューム（白）を六角レンチ（4mm）またはマイナスドライバーで時計方向に回す。

調整時のご注意

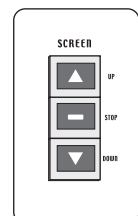
連続して（約5分程度）昇降を繰り返しますと、モーターに内蔵されているサーマルプロテクターが働き、操作スイッチを押してもモーターが作動しなくなりますが、これは故障ではありません。そのまま、30分程お待ちになりますと、自動的に復帰します。
リミッター調整は停止位置を確認しながら行って下さい。
※リミッター調整ボリューム（昇）は必要時以外は絶対に触れないで下さい。

ご使用方法

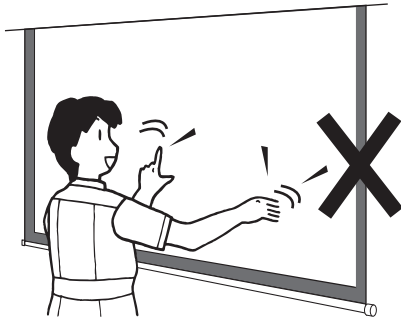
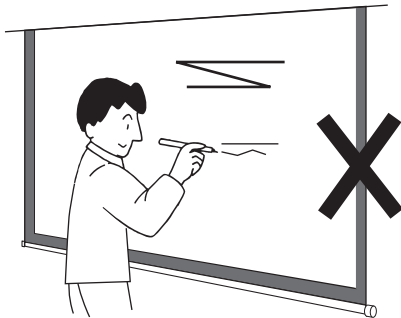
スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。スイッチを一度押せばスクリーンの内蔵リレーが作動してあらかじめ設定した停止位置まで自動的に動き、停止します。

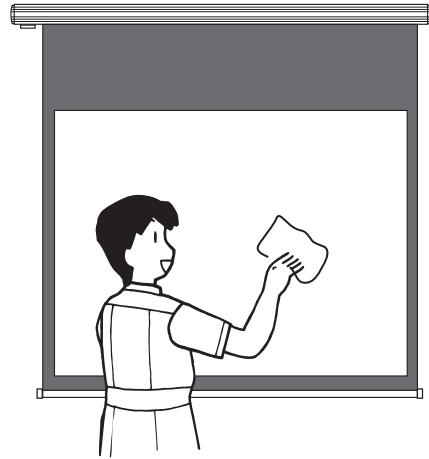
▼ DOWN／スクリーンを使用するとき
スクリーンが自動的に降下して設定された停止位置で停止します。

▲ UP／スクリーンを収納するとき
スクリーンが自動的に上昇して収納され停止します。

− STOP／非常停止の必要があるとき
スクリーンを直ちに停止させるとき。また、作動中のスクリーンを任意の位置で停止させるとき。

スクリーン生地についてのご注意

スクリーンはより明るくきれいな映像を映すために、生地表面に反射効率を良くする素材を塗布しています。生地表面に汚れやキズがつくと、映写効果を損なうことになります。

❶ スクリーン面に直接手を触れないで下さい。

❷ スクリーン面に鉛筆やマジック等で字を書かないで下さい。もし誤ってかかれても消すことはできません。

❸ スクリーン面をベンジンやシンナー類で絶対に拭かないで下さい。又、水拭きもできませんのでご注意下さい。

❹ スクリーン面についたほこりをとるときは、柔らかい乾いた布又は柔らかいブラシで払い取って下さい。

❺ スクリーンケースの汚れは、柔らかい布で拭き取って下さい。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤液で軽く拭き取って下さい。

❻ 直射日光の当たる場所には置かないで下さい。

この商品について万一故障、又は不具合がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社までご連絡下さい。

国土交通大臣許可（般ー18）第16870号

KIC 株式会社 ケイ アイ シー

■東京営業部
〒160-0022　東京都新宿区新宿1-28-3　川辺第２ビル
TEL.03-3357-7195（代）　FAX.03-3357-9365

■大阪支店
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江2-2-17　ビジネスゾーン北堀江
TEL.06-6536-4114（代）　FAX.06-6536-4118

■名古屋営業所
〒451-0044　愛知県名古屋市西区菊井1-4-8
TEL.052-569-1447　FAX.052-569-1448